

1. 取り組みの概要

小中学生に対する自習の手伝い、居場所の提供を通して、学習支援に取り組む。場所は盛岡駅西通りの岩手県立大学アイーナキャンパス（7階）を活用し、毎週土曜日13時～18時に開設する。費用は無料。



2. 活動のきっかけ

児童福祉の授業の終わりに「みなさんは次の一步をどう踏み出しますか?」と問いかけられた時に、「子どもたちを支援したい」、「今できることをやりたい」、「学習支援をしてみたい」等の様々な声が集まり、話し合いの結果“学習室を運営する”ことに決まった。

3. 活動方針

- “やってみたくと思ったことをサポートする場所”として、子どもたち自身の利用スタイルを尊重する。例えば、テスト前に苦手な分野を強化したい子、学校の授業で分からなかった箇所を確認したい子、宿題を終わらせたい子、と利用の仕方は様々である。それぞれが自分のペースで自由に取り組むなか、難しさが生じたときには、私たちが一緒に解決することで、学ぶことの楽しさを身に付けてもらう。
- 子どもたちにとって居心地の良い場所にする。そのために、経済的な事情で対象を限定したり、時間のコマ数や決まり事を設けたりせず、誰にでも開かれた場所を提供する。学校の勉強以外にも、生活や趣味についての話をしながら、信頼関係を培って、子どもたちに安心してもらえる存在になることを目指す。



4. 活動の効果

- 「授業では学べないことも、深掘りして教えてもらえるので、楽しく大切な時間です」（利用者から）
- 「土曜の午後に、息子に新しい居場所ができたこと、本当に嬉しく心から感謝しています」（利用者の保護者から）



子どもたちこのような学習室のニーズがあることがわかった。来室した子どもたちが持参した宿題をすっきりと終わられた様子が見られたり、「来週も来ます！」と言ってくれた子が実際に来てくれたり、「定期試験の成績が上がりました」と報告を受けたときに、学習室を開いてよかったと感じる。また、保護者の方は、その日の夕飯作りをしたり、駅周辺で買い物をしたりできているようで、子育てのレスパイト機能にもなり得ていることを実感する。

